

# 駒木会報

第7号

発行日 平成19年9月20日  
発行 江戸川大学駒木会  
所在 千葉県流山市駒木474  
電話番号 04-7152-0661

## 大学独自の奨学金設立に駒木会が原資を提供

### 平成十九年度より運用を開始

先の総会においても、出資が議題として提案され協力の方向で話が進んだ奨学金制度の運用が、駒木会と後援会出資のもと平成十九年度より正式に開始しました。現在一名の学生が受給対象となっており、多くの学生が授業料や生活費に憂うことなく勉学に励めるようになっていきます。

#### 駒木会からの提供原資額は1000万円

この奨学金制度は正式名称を「江戸川大学奨学金」といい、大学での成績や経済状況を参考に受給希望者から一定数を抽出して、前期後期でそれぞれ10万円ずつ支給されます（二年生のみ後期からの支給となります）。運営は江戸川大学事務局を含む奨学金委員会によって行われます。制度立ち上げおよび運営の責任者は、本号でコラムをご執筆していた筆士である新井正彦先生です。駒木会は原資のみ提供して運営には携わず、定期的に委員会からの報告を受ける形になっています。

提供された資金は、駒木会から100万円、後援会から600万円となつて

目的	江戸川大学に在学し、経済的理由により修学が困難な学生を支援することを目的とする。
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>正規課程の学生である者</li> <li>日本学生支援機構、その他団体等が実施している奨学金を受給していない者</li> <li>授業料減免措置を受けていない者</li> <li>申込直前の修得単位数が本学の定める基準以上の者</li> <li>家計状況が本学の定める基準以内の者</li> </ul>
奨学金	貸付額は年間20万円（無利息）、前期および後期にそれぞれ10万円を指定口座に振り込む。ただし、1年次生は後期から貸付。
貸付期間	1年間（ただし、継続して貸付をうけることも可能）
連帯保証人	連帯保証人として、父母兄弟又はこれに準ずる者から1人をたてる。 ※連帯保証人は日本国籍を有し日本に居住して独立生計を営む成人とする。
返還方法	卒業後4年間で返還。毎年12月15日に本学指定の口座に振り込む。
募集時期	日本学生支援機構奨学金の手続き後に募集する。
採用決定	2年～4年生は7月下旬（日本学生支援機構の採用可否判明後）、1年生は10月中旬。

  

1年生	2年生	3年生	4年生
18単位 (1年前期終了時)	36単位 (1年後期終了時)	72単位以上 (2年後期終了時)	108単位以上 (3年後期終了時)

↑駒木会が原資を提供した奨学金制度の概要。1年生への支給は後期からとなっています。

駒木会は奨学金制度への出資に際し、江戸川大学と正式にパートナーシップを結びました。これにより、駒木会が江戸川大学卒業生で構成された唯一の大学公認同窓会組織となりました。これまでも大学と密に連絡を取り、総会の開催や協力などを行ってきましたが、正式にパートナーシップを結んだことで、施設の利用や大学構内での活動、広報などができるようになります。

現在は新規卒業生からの会費納入率が低く、また継続での永年会費、五カ年会費の納入も芳しくありません。今後は、駒木会の存在を在校時から積極的にアピールし納入率を回復させるとともに、駒木会としても積極的な活動を進めたいと考えています。

#### KOMAKI Card送付に向けて希望者を募集準備

以前の会報で紹介したKOMAKI Cardを、希望者を対象に送付を予定しております。送付対象者は以下の方を条件といたします。

- 永年会費をお支払いされた会員様
- 五カ年会費をお支払いされた会員様

#### KOMAKI Card特典

柏駅前にある江戸川大学エクステンションセンターで行われている公開講座をサードパーティーで受講できます。また、江戸川大学エクステンションセンターにある蔵書だけでなく、江戸川大学図書館の利用、本の貸し出しが可能です。

KOMAKI Cardの発送を希望

#### 総会と懇親会の連続開催は好評

これまで開催のたびに参加人数が減少していた総会ですが、第七回目は趣向を変え、総会と懇親会を同じ場所で行うことになりました。以前は、総会→場所移動→一定時間後懇親会開催、という流れのためか、総会と懇親会の参加人数にバラツキがありました。そこで、これら時間のずれや移動の手間をなくすため、学生食堂（江戸屋）で総会も行うことにしました。結果、総会と懇親会をほぼ同時に行う形となりましたが、移動や待ち時間などの手間を省くことができ、これまでより多くの方に出席していただくことができました。



↑懇親会で挨拶をされる帆足先生。今回はより多くの先生に出席していただきました。

## 総会開催の案内

### 昨年に続き立食形式で進行

大学の学園祭開催に合わせて、駒木会総会を以下のとおり実施いたします。昨年に引き続き、食堂にて総会と懇親会を併せて行う予定です。ご家族のご出席も問題ありません。お忙しいとは思いますが、当日は友人などお誘い合せのうえ、ぜひ総会、懇親会にご出席ください。

■総会日程  
日時：十一月三日（土）祝 開場午後三時三十分、開会午後四時  
場所：大学構内食堂（江戸屋）

#### 江戸川大学奨学金制度 発足によせて

江戸川大学学生部長 新井正彦先生

江戸川大学では、今年度より本学独自の奨学金制度を発足しました。これまで奨学金は、日本学生支援機構が年間一〇〇名程度の学生を対象として支援してきたが、同機構の奨学金だけでは対象外となる者が出てきていた。そのため、対象外となった年間二〇〇〜三〇〇名の学生たちを支援する目的で、江戸川大学奨学金制度が設立された。この奨学金制度は、経済的理由から就学困難な学生を援助することを第一義として、同窓会である駒木会と後援会の協力を得て創設されたものである。特に駒木会には、後輩への勉学支援を具現する形で協力を快諾していただいた。ここに紙面を借りて御礼を申し上げる。

今後、このような形で駒木会と大学が連携をとって、勉学に励む在学生に対してサポートしていく体制を強化できればと願っている。

#### ガンバレ！マス塾諸君

P日P研究所 出版局学芸出版部 社会部  
マスコミュニケーション科 第一期生 和田利子

六月のある土曜日、私は懐かしい講義棟で、マスコミ塾（通称「マス塾」）の皆さんに講義をすることになりました。きっかけは斗鬼先生への執筆依頼だった。

雑誌の編集を経て、現在、書籍の編集をしている私は恰好のサンプルなのかもしれない。だが、何を話す？ 新井先生のお力を拝借して、この講義に何を求めているかを知りたく、アンケートを実施して頂いた。それを基に進めた講義は、彼らの志の高さを感じると共に、自分の仕事の面白さを再認識する機会を与えてくれた。濃厚、かつ実践的なカリキュラムをこなす彼らにとって、今は大変だろうが、役立つときがきっと来るはず！ マス塾がなかった私から見れば、とつても羨ましい環境である。いつかどこかの仕事場で彼らに会える日が来ることを願ってやまない。

### 江戸川大学駒木会収支報告書（平成18年3月31日）

平成17年度		
品目(備考)	金額	
収入の部	前年度繰越金	150,964,066円
	利息合計	1,195円
	校友会費（終身・5ヶ年会費）	70,000円
	合計	151,035,261円
支出の部	第5回同窓会報および第6回総会案内発送費	720,525円
	第5回同窓会報制作費	145,215円
	講演会費（平成17年11月3日分）	325,525円
	Webサイト修正費	25,630円
	郵便局振込用紙印字費	4,600円
	合計	1,221,495円
平成18年度への繰越		149,813,766円

※18年度の会計報告は総会でを行います。



# 駒木会活動報告

総会開催以降の駒木会執行部の活動をご報告します。

- 2006年11月3日**  
駒木会総会および懇親会を学生ホール（食堂）にて開催しました。
- 2006年12月9日**  
駒木会総会および懇親会について反省会を行いました。また、奨学金の出資について検討しました。また、奨学金制度に関して準備委員会委員長である新井正彦先生より説明を受けました。
- 2006年12月16日**  
奨学金出資にあたり、江戸川大学事務局加藤木学務課長とパートナーシップの締結を行いました。
- 2007年1月13日**  
奨学金の出資、卒業生からの入会金および会費支払い状況について検討しました。
- 2007年2月17日**  
奨学金の出資、江戸川大学とのパートナーシップについて検討しました。
- 2007年2月23日**  
奨学金の出資に際し、1,000万円を準備委員会が管理している口座へ振り込みを行いました。
- 2007年4月14日**  
引き続き奨学金の出資、江戸川大学とのパートナーシップについて検討しました。
- 2007年6月2日**  
昨年度卒業生の入金、総会当日の進行内容、奨学金出資金額について確認しました。

# 大学近況



**D棟(旧短大棟)一階をテラスに改装**

平成十九年三月にその歴史を閉じた江戸川大学短期大学。そのメモリアルホールともいえるスペースがD棟(旧短大棟)一階に作られました。教室だった一部のスペースが改装され、吹き抜け風のおしゃれなテラスに変身。大きな窓の向こうにはウッドデッキによるオープンテラスも



一ひろびろとしたカフェスペースには無線LANのアクセスポイントも設置されています。

設けられ、緑の芝生や木々を見ることができます。屋内のショーウィンドーには短大旗やこれまでの卒業生が展示され、かつての短大に思いを馳せることもできます。テラス内には無線LANスポットも配置されており、お茶を楽しみながらネットにアクセスできます。学校を訪れた際は、ぜひ一度足を運んでみてください。

## 江戸川大学総合福祉専門学校が社会福祉士養成科を新設

専門学校に、新たに社会人向け講座として社会福祉士養成科が設置されました。社会福祉士とは、身体・精神に障害があったり、環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある人に対し相談・助言・指導・援助を行う人です。今後、福祉に携わります重要な資格になってくる資格です。本学では、社会福祉士の受験資格が得られます。昼間一年制・通信制一年七ヶ月のコースがあります。福祉関係に興味のある方はホームページで詳細をご確認ください。

今年新設された社会福祉士養成科の紹介ページ。募集要項や資料請求手続きも、このページから行えます。(http://edosen.jp/gakka/social\_training.html)

## 開発が進む「おおたかの森」

二〇〇五年に開業したつくばエクスプレス。江戸川大学の近くに「流山おおたかの森」駅が新設され、ここで乗降する学生が増えてきています。駅から大学まで、専用のシャトルバスが出ており移動も快適。同じ場所には東武野田線の「流山おおたかの森」駅が併設されており、大宮、柏方面への移動もこの駅からの乗換えでできるようになっています。

この春にはフードショップやコンビニを収容した大規模ショッピングセンターがオープンし、ますます賑わいを見せるおおたかの森。江戸川大学としても、駅前の複合ビルにエクステンションセンターのような施設を設置する計画があります。今度大学に足を伸ばすときは、おおたかの森駅を利用してみましょう。

## 会費納入のお願い

駒木会は、会員の皆様にご納いただいた会費によって運営されており、未納の場合は、どうぞお振込みをお願いいたします。納入にあたって二種類の会費をご用意しております。また寄付も受け付けておりますので、ご都合のよい金額をお選びください。

- 永年会費…三万円
- 五カ年会費…五万円
- 寄付金…五千円(二口)

### 会費ご納入は郵便局から

駒木会会費につきましては、郵便局にある払込取扱票に以下の項目をご記入のうえご納入ください。

- 口座番号…001103167407
- 加入者名…江戸川大学駒木会
- 金額…振込金の総額
- 通信欄…振込金額内訳。卒業生

ご本人の現在のお名前と住所、在籍当時の学籍番号(送付封筒に記載しております)。

### 払込人住所氏名・会費をご納入された方のお名前と住所。

お手間おかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします。

二〇〇八年三月までに納入された方のお名前は、次号会報にてご紹介させていただきます。今後は、会費を納入いただいた方の会報をお送りする予定となっております。

※第九期(二〇〇二年三月)以降に卒業された方で、卒業時に会費を納入している方は今回納入の必要はありません。

※これまでに永年会費または五カ年会費を納入いただいた方は、今回納入の必要はありません。

### 会費を納入いただいた会員の皆様

(敬称略、順不同)  
(2006年4月1日~2007年3月31日)

- ◆5カ年会費  
石井理恵(9070010) / 石井正和(9660010) / 甘楽洋二郎(9370126) / 吉田和広(0111149) / 大山晃(0013018) / 宮本大輔(0112146) / 阿部健(9260005) / 玉井琢(9370118) / 山内利一(9660189) / 仙波茂(0114069) / 平野学(0214084) / ほか1名
  - ◆永年会費  
久野貴彦(9712044) / 長妻宏明(0214074) / 櫻井幸司(0013040) / ほか1名
  - ◆寄付  
大山晃(0013018)
- ご納入大変ありがとうございます

## 多彩な学部学科で探究心を満たそう

江戸川大学には二つの学部、五つの学科が設置されています。それぞれ、世界を取り巻くIT環境や社会動向、マスメディアの研究など、今の時代に必要な知識、情報を吸収することができます。周囲に進学予定の方がいらっしゃる場合は、ぜひ江戸川大学を紹介してあげてください。

- 社会学部 人間心理学科  
さまざまな分野の最新の心理学や身体論を活用して、科学的かつ体験的に「人間」を学びます。
- 社会学部 ライフデザイン学科  
自分と社会との関わり方から心豊かな生き方と生活環境を考え、提案できるライフデザイナーを目指します。

指します。

- 社会学部 経営社会学科  
消費者、株主、環境に配慮する経営に挑戦しビジネススマネジメントを志す人材を育成します。
- メディアコミュニケーション学部 マスコミュニケーション学科  
スタジオや最新設備を誇るマルチメディア教室を駆使し、現場に出てすぐ活躍できる実践力を身につけます。
- メディアコミュニケーション学部 情報文化学科  
激動する現代に対するバランス感覚を持ち、社会に出て信頼される若者を育成します。

## 会報への投稿、駒木会執行部運営に参加してくれる方を募集しています

駒木会では、会報に掲載する原稿の投稿を受け付けております。駒木会運営に関するご提案やご意見、母校への提言や後輩へのエールなど、大学に関することなら内容は自由です。こちらで内容を確認次第、折り返し掲載のご連絡をいたします。よりよい会報作りに

ご協力をお願いいたします。また本会運営に役員、スタッフとして参加してくれる方を募集しています。興味のある方は、江戸川大学事務局内江花あてまでお電話ください。今後の活動スケジュールなどについてご説明いたします。

- 投稿送付先(本会に関するご意見、会報のご感想もこちらまで)  
〒270-0198 千葉県流山市駒木474 江戸川大学事務局気付駒木会事務局 江花栄二あて
- お問い合わせ  
TEL: 04-7152-0661(江戸川大学代表)  
江戸川大学事務局 江花栄二
- 江戸川大学Webページ  
URL: http://www.edogawa-u.ac.jp/
- 駒木会Webページ  
URL: http://www.edogawa-u.ac.jp/komaki/
- 駒木会直通メールアドレス  
komaki@edogawa-u.ac.jp